

派遣留学月例報告書（10月分）

金沢工業大学 大学院 システム設計工学専攻
蔭山 洋介

イリノイ大学派遣留学月例報告書

まずこの場を借りて、私の指導教員でありました垣田有紀教授の訃報お知らせさせていただくと同時に、冥福を祈りたいと思います。

さて、今月は先月の報告書で報告できなかった科目の感想について報告したいと思います。それに加えて、今月の印象深い出来事の一つ **Japanese Beatle** との戦いについても報告します。

内容

1. 現在履修中の科目の感想

- SPSHS 375: SPEECH SCIENCE I
- THEAT 170: FUNDAMENTALS OF ACTING
- THEAT 374: MODERN JAPANESE DRAMA
- ESL 113: English Structure and Paragraph Development for Undergraduate Students
- 授業全体を通して

2. Japanese Beatle との戦い

1. 現在履修中の科目の感想

まず便宜上、先月の報告と重複しますがまず **Fall semester 2003** 現在履修中の科目を先月の報告書から抜粋し、以下に示します。

私が今期履修している科目は下記一覧の通りです。表記は **Course name and number: Class name and Credit number** の順で記します。また、それぞれの **Course Name** を **SPSH: Speech and Hearing Science**, **THEAT: Theater**, **ESL: English as a Second Language** として表記します。また **Course number** は **100~299** は学部1・2年生レベル、**300** 以降は3・4年または大学院レベルの講義を指します。単位数は **hours** で表記し、一週間あたりの講義時間を指します。

Fall semester 2003 履修科目一覧

SPSHS 375: SPEECH SCIENCE I.	4 hours
THEAT 170: FUNDAMENTALS OF ACTING.	3 hours
THEAT 374: MODERN JAPANESE DRAMA.	3 hours
ESL 113: English Structure and Paragraph Development for Undergraduate Students.	3 hours

これらの科目についてそれぞれの感想を述べます。また、最後に全体としての授業の感想も述べます。

- SPSHS 375: SPEECH SCIENCE I.

この講義は健常者の発話と聴覚の解剖学的、生理学的特性の基礎を学習することを目的としている科目です。生理学全般の講義から始まって、現在は呼吸や喉頭の活動などを取り上げています。内容のごく基礎的なものだと思います。しかし、ごく基礎的な内容でも、英語が分からなければついていくのは大変です。

最初の日のレクチャーはたぶん一生忘れません。ほとんど理解できませんでした。もう目が点と言う言葉がぴったりです。英会話にある程度自信がついていた時期ただけに、すごくショックでした。本当にわかるようになるのか不安と戸惑いでいっぱいになったのを覚えています。

授業が教科書通りに進んでくれればこっちも予習することが出来るのですが、教授は教科書を参

派遣留学月例報告書（10月分）

金沢工業大学 大学院 システム設計工学専攻

蔭山 洋介

考書程度にしか使いません。どんどん、スライドを使って説明していきます。お手上げでした。結局、教授と相談して、現在は聴講生という形で参加しています。

この講義を受けて強く思ったのは、ノートを取る技術が大切だということです。教科書の予習が出来れば、リスニングやノートを取る技術はさほどなくとも何とかなるなと思います。ですが、教科書通りに進まない科目については、ノートが命です。逆に言えば、ノートさえ取れば、予習しなくても良いのだから、簡単なはず。だから、リスニングの力を磨いて、来期でリベンジを果たしたいと思っています。

- THEAT 170: FUNDAMENTALS OF ACTING.

この科目は、演技の訓練方法と演技についての学習が目的です。

この科目は教科書通りに進んでいきます。予習が可能です。だから、少々何を言っているのか分からなくても、何をやるのかはわかるので、対処できます。いろいろな演技の訓練をするのですが、それぞれの目的や方法は予習していけば、講義はただの復習になるので、よく分かります。ただ、つらいのは英語の台詞を覚えることです。とにかく覚えられません。覚えても忘れます。そして、読み込めません。なんとか各シーンで何をやっているのかはわかりますが、各役が何を感じているのかを読み取れません。それが、そのまま演技の試験にも出てしまいました。しかし、次の試験では良い演技が出来るように練習を重ねているところです。

- THEAT 374: MODERN JAPANESE DRAMA.

この科目は、江戸期の能狂言から出発し、主に日本の戦後の演劇について講義するもので、講義はディスカッション形式で進んでいきます。

最初はディスカッションに加わることができずあせりましたが、今では活発な意見交換とまではいきませんが、発言は出来るようになってきました。最初とまどった読書課題も厳しいですが、こなせるようになってきました。それに、先日提出したレポートはAという成績をいただきました。英語の能力は少しずつだけれど、確かに向上していることが感じられる講義です。しかし、Mid Examでは粉碎しました。一時間半で3本エッセイを提出せよという内容です。英語が母国語の友人でさえ、「時間が足りないよ」と嘆いているのに、僕に何が書けるのでしょうか。今から、Final Examが怖いです。

講義の内容は私にとって大変興味深いものです。歌舞伎は極大化、能は極小化した演劇である、という解説を聞いたときは、そういう見方ができるのかと驚きました。また、その後の言文一致運動と演劇の関係や、戦争と演劇の関わりなど、日本の歴史について新たに発見することがたくさんありました。

今まで、日本の近代演劇史を学びたいと常々思っていたので、この講義は本当に取ってよかったと思っています。

- ESL 113: English Structure and Paragraph Development for Undergraduate Students

この科目は英語のライティング能力を高めるためのクラスです。一般の英語の授業とは異なり、個別に面接を行って個人ごとに問題を掘り下げ、個人ごとに課題に取り組んでいく形で授業が進んでいきます。ですから、自分の問題が良く分かり大変勉強になります。また、最近ですが、週に一度の家庭教師が講義とは別に付くようになり、より充実したものになっていると思います。とても贅沢な講義だと思います。

- 授業全体を通して

最初の1・2週間は、朝目覚めて「今日の講義行きたくないなあ」と感じていました。本当に分

からない講義に出るのはつらいです。中学生のときクラスで一人授業について行けなくて、いつもいらいらしていた男の子がいましたが、彼の気持が分かります。クラスで自分一人だけ講義が分からないと本当につらい。

でも一ヶ月を過ぎたくらいから、アメリカ人と同じことがすぐ出来るようになるわけがないと開き直って、ずいぶん楽になりました。本を読むのも楽しくなってきたし、授業に行くのも億劫でなくなりました。テストやレポートは相変わらずつらいですが、これだけやって覚えられないなら仕方がない、これだけがんばって書いたレポートだから成績が悪くても後悔しないと思えるようになって、いい意味で以前のとにかく頑張らなければと思ってた時期より、頑張れているように思えます。以前は気持だけあせて時間を有効に使えていなかったような気さえしてきます。1週間のうち、金曜の夜と土曜の日中は勉強せずに遊ぶ！その他は勉強しているのだから、ご褒美があってもいいはずだ！今はそんな風に考えて、勉強のスケジュールを調節しています。

はじめは戸惑い不安ばかりでしたが、今ではこのようにいい意味で開き直って頑張れていると思います。

2. Japanese Beetle との戦い

このシーズンもっとも印象深かった出来事を一つ報告させていただきます。さて Japanese Beetle という昆虫をご存知でしょうか？ 実は天道虫のことです。英語では Lady Bag というのですが、この Japanese Beetle は少しオレンジ色です。それに、背中の星の数がばらばらで、星がないものから20くらいのもまで様々です。この虫の特徴として、噛むらしい、そして多いというのが特徴です。最盛期は街中を飛び回わり、部屋の中へ進入してきます。私の部屋では3週間ほど前に、一晩で50匹程度の Japanese Beetle を確認しました。このように大変迷惑な天道虫を特に Japanese Beetle と呼ぶようです。

私はこの日本人にとってなじみのない、しかも Japanese Beetle という不名誉な名前を冠したこの虫が大嫌いです。夜勉強していると、カサツカサツカサツというリズムを刻む音がします。振り返ると奴です。しかも大量に。初めて見た日は相当引きました。気持悪いのです。無数の黒い点が白い壁を這い回っているのです。どうしたものかと頭をひねって、とりあえずティッシュペーパーで一匹ずつ潰すことにしました。しかし、罪もない昆虫を殺すことに罪悪感を覚えたことと、その効率の悪さに辟易して、別の手段を講じることにしました。それは、隙間という隙間をふさいで、この変な虫が侵入できないようにしようと考えたのです。しかし、その作戦は失敗に終わりました。完全に塞いだと思っていた隙間も、きっとどこかにスキがあったのでしょうか。その日の夜も大量の Japanese Beetle の進入を許してしまいました。その日も仕方なく一匹ずつ取り去りました。それから毎晩毎晩この昆虫との戦いに時間を費やすことになりました。最終兵器を思いつくまでは

一度に大量に取り除けて、捕獲の失敗率が少ない方法はないか？方法は二つ思い付きました。一つは掃除機、もう一つはガムテープを使うことでした。掃除機は寮にある大きなものしかないので、毎日部屋に持ち込むのは困難です。ということで、ガムテープを使うことにしました。

結果、戦いは終わりました。毎日毎日、時間を無駄にしていたのが悔しいくらいに楽に処理できます。ガムテープ一切れに3匹、10回で30匹処理できるのですから、楽で当然です。2時間も駆除に時間を費やしてきたのが、わずか10分ほどでほぼ駆除が終わります。なぜ、この方法にもっと早く気が付かなかったのかと後悔しました。こうして、憎き不名誉な名前を冠した昆虫との戦いは終わったわけです。おそらく今晚も最終兵器が大活躍することでしょう。

以上を今月の月例報告とさせていただきます。